

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-271588(P2003-271588A)

【公開日】平成15年9月26日(2003.9.26)

【出願番号】特願2002-72912(P2002-72912)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 17/22

B 31 D 1/02

G 06 F 17/21

【F I】

G 06 F 17/22 520 L

G 06 F 17/22 512 R

B 31 D 1/02 A

G 06 F 17/21 536

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月11日(2005.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

姓名の並びに沿ってその説明句を配置した名前画像を印刷して名前ラベルを作成する名前ラベル作成装置であって、

姓およびそれに沿って配置される姓説明句を有する姓段落の前記姓および前記姓説明句を入力する姓段落入力手段と、

名およびそれに沿って配置される名説明句を有する名段落の前記名および前記名説明句を入力する名段落入力手段と、

前記姓段落と前記名段落とを長手方向に直列に配置して前記名前画像を作成する画像作成手段と、

を備えたことを特徴とする名前ラベル作成装置。

【請求項2】

前記姓段落の情報および前記名段落の情報を有する名前情報を1以上登録可能な名前登録手段、をさらに備えたことを特徴とする、請求項1に記載の名前ラベル作成装置。

【請求項3】

姓名の並びに沿ってその説明句を配置した名前画像を印刷して名前ラベルを作成する名前ラベル作成方法であって、

姓およびそれに沿って配置される姓説明句を有する姓段落の前記姓および前記姓説明句を入力する姓段落入力工程と、

名およびそれに沿って配置される名説明句を有する名段落の前記名および前記名説明句を入力する名段落入力工程と、

前記姓段落と前記名段落とを長手方向に直列に配置して前記名前画像を作成する画像作成工程と、

を備えたことを特徴とする名前ラベル作成方法。

【請求項4】

請求項1または2に記載の名前ラベル作成装置の各手段の機能を実行可能なプログラム

を記憶することを特徴とする記憶媒体。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の名前ラベル作成方法を実行可能なプログラムを記憶することを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、本発明の名前ラベル作成方法は、姓名の並びに沿ってその説明句を配置した名前画像を印刷して名前ラベルを作成する名前ラベル作成方法であって、姓およびそれに沿って配置される姓説明句を有する姓段落の前記姓および前記姓説明句を入力する姓段落入力工程と、名およびそれに沿って配置される名説明句を有する名段落の前記名および前記名説明句を入力する名段落入力工程と、前記姓段落と前記名段落とを長手方向に直列に配置して前記名前画像を作成する画像作成工程と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

この場合、姓段落の情報および名段落の情報を有する名前情報を 1 以上登録可能な名前登録手段、をさらに備えることが好ましい。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

この名前ラベル作成装置では、姓段落の情報および名段落の情報を有する名前情報を1以上登録し、例えば登録されたうちの任意の1の名前情報を検索して、検索された名前情報に基づいて名前画像を作成すれば、複数登録されたうちの所望の名前情報を説明句を利用して検索でき、これにより、名前ラベルを容易に作成できる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

また、本発明の記憶媒体は、上記した名前ラベル作成装置の各手段の機能を実行可能なプログラムを記憶することを特徴とする。

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

また、本発明の他の記憶媒体は、上記した名前ラベル作成方法を実行可能なプログラムを記憶することを特徴とする。